# 事業評価シート (平成26年度分)

## 1. 事業の位置付け

| 事務事業名 生きる力を育む学校づくり推進事業   | ,                                  |  |  |  |
|--|------------------------------------|--|--|--|
|  | 生きる力を育む学校づくり推進事業                   |  |  |  |
| 事業担当学校教育部教育指導課   |                                    |  |  |  |
| 事業種類 ハード ソフト   |                                    |  |  |  |
|  |                                    |  |  |  |
| 総合計画の 位置付け 101 人間力 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ  | '01 人間力 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ |  |  |  |
| 105   5 基礎的な学力を身につけ、個性を伸ばす教育を充実する  |                                    |  |  |  |
| 根拠法令等  |                                    |  |  |  |
| 対象·受益者 幼稚園、幼児、小·中学校、児童·生徒 事業期間   |                                    |  |  |  |
| 委託、協働 【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他 】 【協働:  | ]                                  |  |  |  |
| 目的・目標 事業の概要  |                                    |  |  |  |
| 各学校、園が地域に根ざし、幼児、児童、生徒の実態に即し 幼児、児童、生徒の生きる力を育む学校づくりを推た生きる力をはぐくむ学校づくりを推進していくことで、幼 め、各学校において、ふれあい教育、総合的な学習の児・児童、生徒の自ら学ぶ力や心豊かに生きる力がはぐくま 術鑑賞教室等を実施します。れています。 |                                    |  |  |  |

#### 2.事業の検証

| 4、事業の検証  | -       |   |              |               |          |
|----------|---------|---|--------------|---------------|----------|
| 活動指標     | 指標名     | ふれあい教育推進実施                                      | 施校(園)数       |               | 単位 校     |
|          | 説明·算定式  | 公立幼稚園:5園、小学校:28校、中学校:15校                        |              |               |          |
| /白宝川1日1示 |         | 平成24年度  | 平成25年度       | 平成26年度        | 平成27年度   |
|          | 目標      | 48  | 48           | 48            | 48       |
|          | 実績      | 48  | 48           | 48            |          |
|          | 指標名     | 芸術鑑賞教室実施校                                       | 数            |               | 単位 校     |
| 活動指標     | 説明·算定式  | 小学校:28校、中学校:15校                                 |              |               |          |
| /白里川日1宗  |         | 平成24年度  | 平成25年度       | 平成26年度        | 平成27年度   |
|          | 目標      | 43  | 43           | 43            | 43       |
|          | 実績      | 43  | 43           | 43            |          |
|          | 指標名     | 生きる力を育む学校で                                      | びくり推進事業に係る学校 | からの評価(平成24年度) | から) 単位 点 |
|          | 説明·算定式  | 、 ふれあい教育、総合的な学習の時間、芸術鑑賞教室等についての学校からの評価(5段階)の平均値 |              |               |          |
| 成果指標     |         | 平成24年度  | 平成25年度       | 平成26年度        | 平成27年度   |
|          | 目標      | 4   | 4.2          | 4.2           | 4.2      |
|          | 実績      | 4.3   | 4.3          | 4.2           |          |
|          | 指標名     |   |              |               | 単位       |
| 成果指標     | 説明·算定式  |   |              |               |          |
| 从木1日1宗   |         | 平成24年度  | 平成25年度       | 平成26年度        | 平成27年度   |
|          | 目標      |   |              |               |          |
|          | 実績      |   |              |               |          |
|          | : 予定どおり |   |              |               |          |
| 進捗状況     | 遅れている   | 理由  |              |               |          |
| 平成26年度の  | 主な取組と原  | 成果  |              |               |          |

学校や地域の特性を生かした教育課程を編成し、ふれあい教育や総合的な学習の時間の推進、芸術鑑賞の推進、体験学習の充実等を図る中、幼児・児童・生徒の豊かな人間性と生きる力を育む、学校づくりの推進に取り組みました。

| 平成26年度 | Λ . 世田がちがった |
|--------|-------------|
| の検証結果  | A:成果があがった   |

|    | 項目           | 分析の視点  | 左記の視点に関する分析・課題の抽出  | 総合評価 |
|----|--------------|--|--|------|
| 事  | 必要性          | 市民ニーズ<br>事業目的の達成状況<br>市の関与の必要性<br>その他                        | 各学校の教育目標の達成をめざし、地域の教育力を生かして、幼児・児童・生徒の自ら学ぶ力や心豊かに生きる力を育てるため、一層の推進が必要です。                | 高低   |
| 業  | <del>/</del> | 上位施策への貢献<br>市民満足度を高める方策<br>継続による成果向上の可能性<br>その他              | ふれあい教育や総合的な学習の時間の推進及び芸術鑑賞<br>教室、生き方を学ぶ講演会開催の支援を行うことにより、人<br>間性豊な幼児・児童・生徒の育成が図られています。 | 高低   |
| 分析 | 妥当性          | 事業の目的、対象、内容<br>受益者負担、補助額<br>業務の執行体制(人員配置、業務分担)<br>その他        | 幼児・児童・生徒の「自ら学ぶ力」や「心豊かに生きる力」を育てるための各学校の主体的な取組みに対する支援を行い、人間性豊かな幼児・児童・生徒の育成が図られています。    | 高中低  |
|    | 効率性          | 業務プロセス改善による効率化の方策<br>コスト削減の可能性<br>事業手法(民活の余地、事業形態の検討)<br>その他 | 各学校が、子どもたちの実態や地域性、自然環境等を生かした内容を組み入れた、主体的な取組みを行えるよう適切な予算配分を図る必要があります。                 | 高中低  |

### 今後に向けた課題の分析

各学校が、子どもたちの実態や地域の特性を生かした内容を組み入れた、主体的な取組みが行えるよう予算配分を考えることや、各校での取組み状況を発信していくことが課題です。

#### 3.年度別事業内容·決算額

(単位:千円)

|         | - · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |                         |                         |                         |                         |
|---------|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
|         |   | 平成24年度                  | 平成25年度                  | 平成26年度                  | 平成27年度                  |
|         |   | 決算額                     | 決算額                     | 決算額                     | 予算額                     |
| 事業内容    |   | ふれあい教育の推進、<br>芸術鑑賞教室の実施 | ふれあい教育の推進、<br>芸術鑑賞教室の実施 | ふれあい教育の推進、<br>芸術鑑賞教室の実施 | ふれあい教育の推進、<br>芸術鑑賞教室の実施 |
| 財源      | 国庫支出金                                   | 0                       | 0                       | 0                       | 0                       |
|         | 県支出金                                    | 0                       | 0                       | 100                     | 0                       |
| 源内      | 起債                                      | 0                       | 0                       | 0                       | 0                       |
| 訳       | その他 特財                                  | 0                       | 0                       | 0                       | 0                       |
|         | 一般財源                                    | 37,451                  | 36,390                  | 36,071                  | 36,780                  |
|         | 事業費 (A)                                 | 37,451                  | 36,390                  | 36,171                  | 36,780                  |
| 執行率 (%) |   | 99.08                   | 99.59                   | 98.78                   |                         |

## 4.今後の事業展開(担当課としての提案)

## 平成28年度の取組方針

総合的な学習の時間やふれあい教育の推進、芸術鑑賞を小中学校で、校外学習を小学校で、中学校各種大会・コンクール参加を中学校で、ふれあい教育の推進を幼稚園で実施します。

#### 課長コメント

各学校が、子どもたちの実態や地域性、自然環境等を生かした内容を組み入れた主体的な取組みを行うことができるよう、予算措置を図るとともに、適切な予算額の充当を行いたいと考えます。